

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・地域のかで子どもをいじめから守りましょう！
- ・アウトメディア運動続行中！
- ・放課後児童クラブ活動紹介
- ・教科書展示会開催
- ・自治会対抗パークゴルフ大会の開催について
- ・4月定例教育委員会報告
- ・さわやか町民登山会のご案内
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

地域のかで子どもをいじめから守りましょう！



いじめは、いじめを受けた子ども、いじめを行った子どもだけでなく、すべての子どもに関係する問題です。厚真町では、町民みんなで力を合わせて、いじめから子どもを守ることを目指して、平成27年4月に「厚真町いじめ防止基本方針」を策定しました。

町の基本方針策定から3年が経過しましたが、この間、学校をはじめ家庭、関係機関との連携の下、様々ないじめ防止の取組が行われた結果、重大ないじめ案件は発生していません。

このたび、北海道いじめ防止基本方針が改定されたことに伴い、いじめの防止等の取組を一層推進していくため、町のいじめ防止基本方針の点検、見直しを行い、改定作業を進めています。

地域・事業者の皆様へ

- 子どもたちの健やかな成長・発達のため、子どもたちが異世代間の交流や社会体験活動、文化・スポーツ活動等に取り組むことができる地域の体制を整えましょう。
- 子どもたちの発達段階に応じた道徳観や規範意識を身に付けさせ、生命を尊ぶ心や他者を思いやる気持ちを育むため、学校や家庭と連携した地域での取組を進めましょう。
- 子どもたちがいじめを受けている、又はいじめを行っているとの疑いを感じた場合には、子どもが在籍する学校や保護者、関係団体に相談や連絡・通報するなどして、子どもたちの抱える問題の解消に努めましょう。



アウトメディア運動展開中！



4月から、電子メディアの関わり方に焦点を当て、園児・小・中学生を対象に、「厚真町アウトメディア運動」を展開しています。

アウトメディア運動では、子どもたちが自分をコントロールする力をつけ、電子メディアと上手に付き合えるようにすること、インターネット利用を含めた望ましい生活習慣を身に付けられるようにすることを目指しています。

この運動では、引き続きノーゲームデーの取組を継続するほかに、新たにメディアリセットチャレンジを実施します。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◆この運動でいう「電子メディア」とは、テレビ、ビデオ、テレビゲーム、ゲーム機、パソコン、タブレット端末、音楽プレイヤー、携帯電話、スマートフォンなどをさします。

◆「ノーゲームデー」とは、毎月 第1・第3日曜日に、テレビや電子ゲーム機、スマートフォンなどを使ったゲームをお休みして、「体験活動」や「読書活動」などに親しみ、「家族の団らん」を大切にしていけるものです。

◆「アウトメディア」とは、電子メディアに接触する時間を減らすことを言い、電子メディアを排除したり、否定したりするものではありません。電子メディアに上手に触れることにより過度の接触時間を減らし、自身自身の時間・家族の団らん・人と人とのつながりの時間を大切にしようというものです。

ほっとする『居場所』 放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、厚真町内の1年生～6年生の児童を対象に、放課後や学校休業日に『学習』、『遊び』、『体験活動』などを提供し、児童の健全な育成、保護者の方の仕事と子育ての両立を支援する事業です。今年度は、厚真放課後児童クラブ117人、上厚真放課後児童クラブ84人が在籍し、4月から元気いっぱい過ごしています。

子どもたちは、毎日異年齢の友だちと一緒に活動する中で、上級生への『憧れ』を抱いたり、下級生に『思いやり』を持って接することの大切さを感じたり、たくさんのことを学んだりしています。毎月おこなっている誕生会や夏祭り、クリスマス会などのイベントも多くあり、それらをとおして皆で何かを作り上げる楽しさを味わうことができるのも放課後児童クラブの醍醐味の一つです。放課後児童クラブは『家でも学校でもないもう一つの場所』ですくすくと育つ子どもたちの背中をそっと押していけるように、これからも支援していきます！



『子どもたちの世界』がここにあります

時間を忘れて夢中になれる
本気になって遊びにのめりこめる
そんな居場所を目指して…



個人での加盟ができるようになりました

～厚婦団規約の改正について～

婦人リーダーの養成と交流の促進などを目標として活動している厚真町婦人団体協議会(以下「厚婦団」とする。)の規約がこのたび改正されました。従来、厚真町内の婦人団体だけが加盟できる仕組みでしたが、改正後は個人での加盟も可能となりました。

厚婦団の主な活動としては、歳末チャリティ演芸大会や婦人向け各種講座の企画運営、町文化祭での食堂バザー出店などがあります。

随時、加盟者を募集しておりますので、ご興味のある方は、教育委員会社会教育G(☎27-2495)までご連絡ください。

教科書展示会開催

教育委員会では、現在使用している教科書や平成31年度に使用予定の教科書見本の展示会を次のとおり開催します。教科書展示会は教科書の適正な採択のため、教科書見本をより効率的に利用するために設けられた制度です。

また、教育関係者だけでなく、保護者や一般の方々にも閲覧していただくことで、教科書や教科に対する理解を高めてもらうことを目的としています。

- ◆展示期間 6月15日【金】～28日【木】
午前9時～午後5時※土日も開催
※火・木 午後7時まで
- ◆ところ 厚真町青少年センター
- ◆問合せ 教育委員会 学校教育グループ
☎27-2494

自治会対抗パークゴルフ大会

教育委員会では、夏の自治会対抗パークゴルフ大会を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

- ◆とき 6月28日【木】午後6時 開会式
- ◆ところ 新町町民パークゴルフ場
- ◆参加料 無料
- ◆申込み 6月15日【金】午後5時まで
- ◆その他 チーム編成等の詳細については、自治会回覧文書をご覧ください。
- ◆問合せ 教育委員会 社会教育グループ
☎27-3775 (スポーツセンター)



4月定例教育委員会

4月26日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

- ◆報告事項
各学校の教職員・児童生徒数について、「中学生海外派遣研修事業」募集要項等の配付について、平成29年度標準学力検査の保護者への概要公表について、厚真川で発見された丸木舟が寄託先の苫小牧駒沢大学より返還されたことについて、町議会総務文教常任委員会所管事務調査について(現地調査/厚真放課後児童クラブ建設予定地、事務調査/厚真放課後児童クラブ【実施設計】など(9件))
- ◆議案
厚真町学校職員服務規程の一部改正について(1件)
- ◆その他
グループ業務分担表・年間業務管理表について、平成30年度「四者教育懇話会」の開催について(2件)
- ★問合せ
教育委員会 学校教育グループ
☎27-2494

さわやか町民登山会

自然に親しみながら体力づくりができる登山にチャレンジしてみませんか？

- ◆とき 6月24日【日】
午前7時00分 総合福祉センター前集合
午後4時30分 帰着予定
- ◆行き先 室蘭岳(室蘭市)
- ◆持ち物 ザック、昼食、副食類、雨具及び防寒着、水筒、軍手、ゴミ袋、帽子、タオル、着替え、虫よけ等
- ◆服装等 行動に適した服装。靴は登山靴または運動靴で履きなれたもの。
- ◆定員 30人(小学生は保護者同伴)
- ◆参加料 記念品及び保険料等(当日の朝徴収)
大人(中学生以上) 1人500円
子ども(小学生) 1人300円
- ◆その他 雨天の場合は中止(当日の朝決定)
- ◆申込み 6月19日【火】まで電話等で申込
教育委員会社会教育グループ
☎27-3775 (スポーツセンター)

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

2017年度 厚真町で一番読まれた本は…

文芸書編

1位	14回	素敵な日本人 東野圭吾短編集	2017年	東野 圭吾
2位	12回	蜜蜂と遠雷	2016年	恩田 陸
		騎士団長殺し 第1部	2017年	村上 春樹
		真実の檻	2016年	下村 敦史
3位	11回	騎士団長殺し 第2部	2017年	村上 春樹
		ネタ元	2017年	堂場 瞬一
		砂上	2017年	桜木 紫乃

上位はほぼ新刊でした。小説のドラマ化、映画化は、図書室にとって忘れられた本を書架からひっぱり出して、もう一度読んでもらうチャンスでもあります。例えば、4月から放映されている「ブラックペアン 1988」は、2012年8月から貸出が全くなかったのに、ドラマ化の情報がでた2018年2月から5回も貸出がありました。そういえばこんな本があったと再発見できる良いきっかけになると思いますので、ドラマ化、映画化する作品に注目してみてください。

えほん編

1位	15回	ぱんのようにえんえんそくにいく ほか	2015年
2位	14回	いちごパフェエレベーター ほか	2014年
3位	13回	ぎょうれつのできるケーキやさん ほか	2013年
4位	12回	フルーツタルトさん ほか	2011年

新しい絵本が入っても、やっぱりこれ！と「お気に入りのおはなし」があるようで、大きくなっても大切に読んでほしいと思います。「ぎょうれつのできる」シリーズ2年ぶりの新作がでましたので、そちらも気に入ってくれるとうれしいです。

厚南会館に図書返却ポスト設置

この度、厚南会館玄関前に図書返却ポストが設置されました。青少年センター図書室・厚南会館図書室で貸出した本はこちらからも返却できます。どうぞご利用ください。

青少年センターから6月のお知らせ

プラネタリウム

●投影日時

- ・毎週火曜日 午後3時30分～
- ・毎週土曜日 午後1時30分～

●投影内容

- 1 初夏の星座解説
- 2 ラビくんの宇宙旅行

※グループ、団体などご利用を希望の際は、事前にお問い合わせください。

天体観望会

「木星・おとめ座を見よう」

と き 6月29日(金)
午後7時30分～午後9時



※天候不良の場合は、プラネタリウムでの星空解説を行います。

と ころ 青少年センター天文台

※夜間開催のため、小・中学生の参加は、保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

お問い合わせ先：教育委員会社会教育グループ ☎ 27-2495



新着図書紹介



ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

一般書

『 居酒屋ぜんや 1~4巻』
坂井希久子/著

時代小説に人情、料理が組み合わさったシリーズです。料理がストーリーに関わる小説の大事な所は「再現してみたくなるような料理描写」ではないでしょうか。他にも「みをつくし料理帖」「侠飯」「包丁人侍事件帖」ありますので、ぜひ読んで作って食べて楽しんでください。



- ・爆裂通貨 濱嘉之/著
- ・泣き方をわすれていた 落合恵子/著
- ・食堂メッシタ 山口恵以子/著
- ・おまじない 西加奈子/著

児童書

『 イチからつくるカレーライス』
関野 吉晴/作

「今日はカレーだ」と思った時、まず何から始めますか？この本は、カレーの具材、スパイスを「イチから」作ります。米を作るために田んぼを、野菜を収穫するために畑を開墾しました。肉を食べるには動物を育てる必要があります。大学の課外授業が基になっていますが、自分が口にするものはどこから来るのかを考える良い本だと思います。



- ・ゼロの執行人 青山剛昌/原作
- ・くまのプーさん ミルン/作
- ・まかせて！母ちゃん！！ くすのきしげのり/作

実用書

『 シロウト夫婦の
きょうも畑日和』
金田 妙/著

都会でおしゃれな生活をしていた夫婦が、100平米の貸し農園看板を見つけたところからこの本は始まります。畑を耕すのに何が必要なの？と戸惑っていた夫婦も、今では畑には「その年らしさ」があると悟ったベテラン菜園家です。気軽によんで、「あるある」と楽しめる1冊です。



- ・手づくりビール読本 笠倉 暁夫/著
- ・育てる力 栗山 英樹/著
- ・安産ごはん 森 洋子/著

絵本

『 そらから ぼーん』
高畠 邦生/作

ある日そらからぼーんと落ちてきたのは、大きな大きなホットケーキでした。次に降ってきたのはバター、シロップ。甘い香りと一緒に、ふわふわのホットケーキにくるまれてみたいものです。



- ・みんなみんないないないばあ
いまむらあしこ/文
- ・とらんぼりんぼーん ふくだじゅんこ/作
- ・ポポくんのひみつきち accototo/作
- ・いまからともだち くすのきしげのり/作



～図書室からのお知らせ～



■6月の休館日
休館日はありません

青少年センター図書室開館時間
午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時(火・木)

■厚南会館図書室
午前9時から午後5時(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
休館となります。

■6月の移動図書
・上厚真小学校 金曜日
1日 10:35-10:50
8、15、22、29日 10:10-10:25
・ともいき荘
15日【金】 午後2時00分～2時30分

■絵本の読み聞かせ会 おはなしのびっ子
日時：28日【木】 午前10時30分～
場所：青少年センター絵本コーナー

☆放課後子ども教室☆

白いコブシと淡いピンクの桜の花が並んで咲く厚真の春です。芽吹いた青い葉が目にも優しく、ほっこりとした気分になります。天気の良い日の外遊びやお散歩を、子どもたちもとても楽しみにしています。

4月後半のプログラムでは、昔懐かしい糸電話を作って実験をしたり、ストローを使ったモビールという飾り物作りをしました。何の変哲もない糸と紙コップが、内緒話を楽しめる電話に変身。複数の糸でつないだ電話を作ってみたり、電線となる糸には定番のタコ糸のほか、ナイロンテープや毛糸など、様々な種類を試してみたりするなど、想像以上に色々な遊び方が楽しめました。モビール作りでは、子どもたちの創意工夫いっぱいの可愛らしい作品ができあがりました。「家族へのプレゼントにする」と丁寧に仕上げ持って帰った子のうれしそうな顔が印象的でした。

5月前半、高学年の活動では子どもたちからのリクエストもあったスライム作りに挑戦。洗濯のり、水、ホウ酸水溶液をまぜて作るゼリー状のおもちゃです。材料の分量、かき混ぜ度合いで硬さが変わり、手に乗せると溶けてしまうような柔らかさのものや、逆に固まりすぎてまとめようとすればするほど、バラバラになってしまうなど、子どもたちも夢中になって実験していました。不思議なことが面白いと思うとき、遊びの幅は広がります。確かに片づけは大変でしたが、考えたことを形にしてみようとチャレンジする子どもたちの姿は、とてもキラキラして見えました。



5月の大型連休も終わり、放課後子ども教室への1年生の参加が始まりました。みんなパワフルで、人懐っこい子ばかりです。2～3年生も新しい仲間を迎えて張り切っています。最初はみんなで仲良くなるゲームとして自己紹介を兼ねたじゃんけん遊びや、オニごっこなどをしました。体を動かす活動は、自然と子どもたち同士で声をかけあう場面も増えていきます。先輩が後輩の面倒を見てくれる姿も見えますが、一方で親切にしたつもりが裏目に出てケンカになってしまうこともあり、なかなか思うようにはいきません。これは積極的に人とのかかわりを持つからこそ生まれる課題です。失敗したな、と感じることもこれからたくさんあるかもしれませんが、それは体験しないと学べない失敗です。今後、子どもたちが人とのかかわりから学び、自分の行動をどう考えていくか、成長を見守りたいと思います。

先日、「部活ないから遊びに行くね!」とこの春、小学校を卒業し、中学生になった子どもたちが顔を出してくれました。低学年の子どもたちは中学生の登場に大喜び! こうして卒業生が次の世代とつながっていく姿を見られるのは、活動を続けてきて良かったと感じる瞬間です。近況報告も兼ねて、またいつでも遊びに来てください。

